

## PRESS RELEASE

報道関係各位

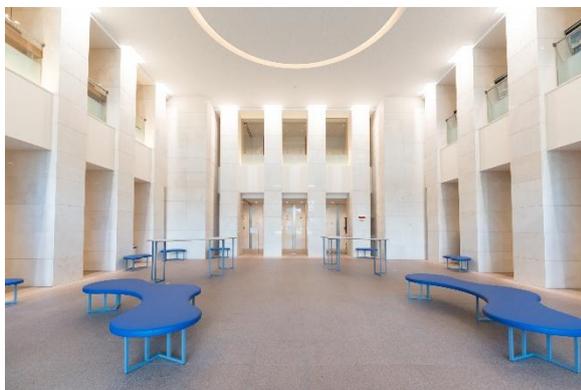
### 建築デザイン学部のデザインアイデアコンペ受賞作品をもとに 日本女子大学の百年館高層棟エントランスをリニューアル 実現に向けて卒業生で建築家の妹島和世特別招聘教授が学生を指導

日本女子大学（東京都文京区／学長：篠原聡子）は、2026年2月16日（月）、目白キャンパス内の百年館高層棟エントランスをリニューアルし、同日、お披露目会を開催しました。

本リニューアルは、2024年度に開設した建築デザイン学部の記念事業の一環として実施したもので、2025年2月15日（土）に建築デザイン学部の妹島和世特別招聘教授を審査委員長に迎え「百年館高層棟エントランス デザインアイデアコンペティション」を開催。全11作品の応募の中から「潮流の場～滞留と対流～」が1位に選ばれました。

コンペティション終了後、1位を受賞した学生2名は、妹島特別招聘教授およびアドバイザーとしてコンペティションに参画し、実際の家具制作にも携わった本学卒業生である山口木材工芸株式会社の山口千絵子代表取締役社長とともに、約1年をかけて試作と検討を重ねながら提案の具体化を進めてきました。

百年館高層棟には、本学の大半の事務部署の執務室や6つの学科の研究室が集約されており、そのエントランスは、本学の正面玄関ともいえる重要な空間となっています。



リニューアルした  
百年館高層棟エントランス



右から妹島特別招聘教授、新エントランスを設計した学生  
（苅部さん、武富さん）、山口木材工芸の山口代表取締役社長

## PRESS RELEASE

### ■「潮流の場～滞留と対流～」設計内容

「潮流の場」とは、留まる人の滞在＝滞留と、動く人の流れ＝対流が交錯することで生まれる“常に変化し続ける空間”です。水が岩にぶつかり流れを変え、渦や淀みを作るように、このエントランスもまた人の動きに応じて表情を変えていきます。静（滞留）と動（対流）が柔軟に共存することで、人々が偶発的に出会い、交流し、新たな関係性が生み出される場を目指しています。

今回、「座る」と「立つ」の2つの滞在の形を設けるため、身体寸法に合わせ「1人掛けベンチ」「複数人掛けベンチ」「ハイテーブル」の3つ家具をデザイン・設計し、計13点をエントランスに点在させました。



学生による設計内容説明の様子



コンペを勝ち取った提案資料の一部

#### ・1人掛けベンチ



待合や作業の場として機能する家具です。一般的な1人用の椅子に比べてゆとりのある形状とし、書物を広げての作業や一時的な荷物置きなど、多様な用途を受け入れられるようにしています。

2種類のベンチは流れる水をイメージし、ブルーの座面としました。



## PRESS RELEASE

### ・複数人掛けベンチ



利用者の長期的な滞在を促すデザインです。「くの字」に曲がった平面形状により、内側には賑やかに集う場を、外側には個人的に過ごせる場を生み出し、2つの滞在スタイルをもたらします。

### ・ハイテーブル



立ったままの作業やカジュアルなミーティングを可能にし、新たなラーニング・コモンズとしても機能します。立位のまま自然に肘をかけられるよう、高さは1000mmに設定しました。

### ■エントランス完成を受けて受賞学生コメント

荻部珠子さん（家政学部住居学科4年※）

意匠としての希望と、強度など実務的に求められる要件をすり合わせていく経験はこれまでになく、とても興味深く、また大きな学びとなりました。今回の貴重な経験を通して、自分が社会に出て建築に携わっていく姿を、より具体的に思い描けるようになったと感じています。

武富零央さん（家政学部住居学科4年※）

今回、私たちの提案が当初のイメージにできる限り近い形で実現できたことを、大変うれしく思っています。提案を実物化できた機会は得難く、強度や納まりなど技術的な面では山口様をはじめ多くの方々に支えていただきました。心より感謝するとともに、大きな学びを得ました。今後、この場が使われ方の中で育っていくことを期待しています。

※「建築デザイン学部」は「家政学部住居学科」を前身とし、2024年4月に開設しました。

## PRESS RELEASE

### ■妹島特別招聘教授コメント

完成した家具の置かれたエントランス空間を目にして、「滞留」と「対流」という考え方がこの場所にふさわしいものだと、改めて実感しました。それぞれの家具はいろんな使い方に合わせて移動がしやすいため、並べ方によってエントランス空間が大きく変わります。「この場所にどのような空間をつくっていくのか」を学生たち自身が感じ、考えられる家具になっているのではないのでしょうか。これからどのように使われていくのか、とても楽しみです。設計したお二人には、今後もものづくりに励んでほしいと思います。

### ■山口木材工芸株式会社 山口代表取締役社長コメント

最初は段ボールでモックアップを制作し、フォルムをつかむところから始めました。そこから部材や塗装色の選定まで、約1年にわたり武富さん、荻部さんとやり取りを重ねてきました。安全性と堅牢性を常に念頭に置きながら制作を進めてきましたが、お二人の素敵なデザインを生かしたまま、このように形にすることができ、大変うれしく思います。

### 【参照リンク】

百年館高層棟エントランス デザインアイデアコンペティションレポート

[https://www3.jwu.ac.jp/fc/public/architecture\\_and\\_design\\_special/05/index.html](https://www3.jwu.ac.jp/fc/public/architecture_and_design_special/05/index.html)

日本女子大学建築デザイン学部

[https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/architecture\\_and\\_design/index.html](https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/architecture_and_design/index.html)

日本女子大学は、日本初の組織的な女子高等教育機関として創立し、2021年に120周年を迎えました。私立女子大学唯一の理学部を有し、文理融合の教育環境をもつ女子総合大学です。「私が動く、世界がひらく。」のタグラインのもと、自ら学び、自ら行動し、新しい価値を創造できる人材を育てています。昨年度は「建築デザイン学部」を開設し、今年度には「食科学部」を開設しました。さらに2026年度に文学部2学科の名称変更を予定し、2027年度には「経済学部（仮称）」の開設（構想中）、2028年度には「ファッションデザイン学部（仮称）」および「人間科学部（仮称）」の開設（構想中）と、継続して大学改革を進めていきます。詳しくは、<https://www.jwu.ac.jp>をご覧ください。

## PRESS RELEASE



学校法人 | 日本女子大学 法人企画部 広報課

〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 <https://www.jwu.ac.jp/>

Phone. 03-5981-3163 e-mail. [n-pr@atlas.jwu.ac.jp](mailto:n-pr@atlas.jwu.ac.jp)

Facebook. [@Official.JWU](#) Instagram. [@japan\\_womens\\_university](#) X. [@JWU\\_official](#)